

# 漁海況情報

平成22年7月26日 第13号(通巻446号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

TEL:0837-26-0711 FAX:0837-26-1042 Mail:a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

HPアドレス: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

## 【大型クラゲ情報】

調査船「くろしお」による大型クラゲ調査を、7月20～21日にかけて、川尻岬北西沖海域で行いました(図1)。海面目視調査、魚群探知機による水深5～100m層の調査、ともに大型クラゲは確認されませんでした。なお、昨年度の本県海域における大型クラゲの初確認は7月14日でした。

(独)水産総合研究センターによる7月中旬の調査で、東シナ海北部～中央部において少数の大型クラゲの出現が確認されています。

昨年度は7月上旬から対馬周辺で大型クラゲが大量に出現しましたが、今年度は7月16日現在日本近海での出現情報はなく(漁業情報サービスセンターまとめ)、現時点では、昨年度より出現量は少ない状況と考えられます。

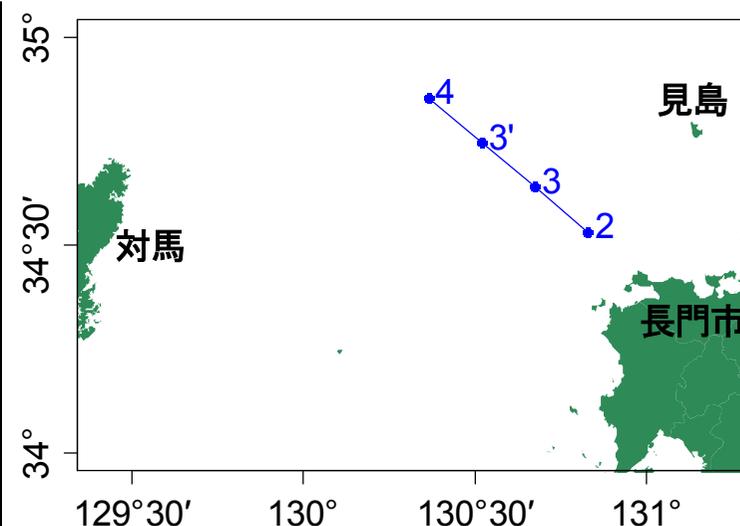


図1  
大型クラゲ調査  
定線

大型クラゲ調査時の観測水温は下記の通りでした。

表1 H22.7.21 大型クラゲ調査 各観測点の水温(°C)

測点番号	St.2	St.3	St.3'	St.4
時刻	15:28	12:36	9:47	6:35
水深	105m	122m	133m	128m
1 m	26.6	25.9	25.2	25.4
10 m	24.5	23.4	23.1	24.1
50 m	19.4	17.4	16.8	17.1
100m	17.4	15.8	15.8	15.8
海底	17.4	15.7	15.6	15.7

## 【萩 - 見島フェリー観測の表層水温】

萩沖の表層水温は、7月12～19日の期間、ほぼ平年並みで推移しました。梅雨明け以降、7月20日から昇温傾向が顕著になり、平年・前年より高い状態が続いています。

7月26日の水温は27.4℃で、前年と比べ2.6℃高め、平年と比べ1.8℃高めです。

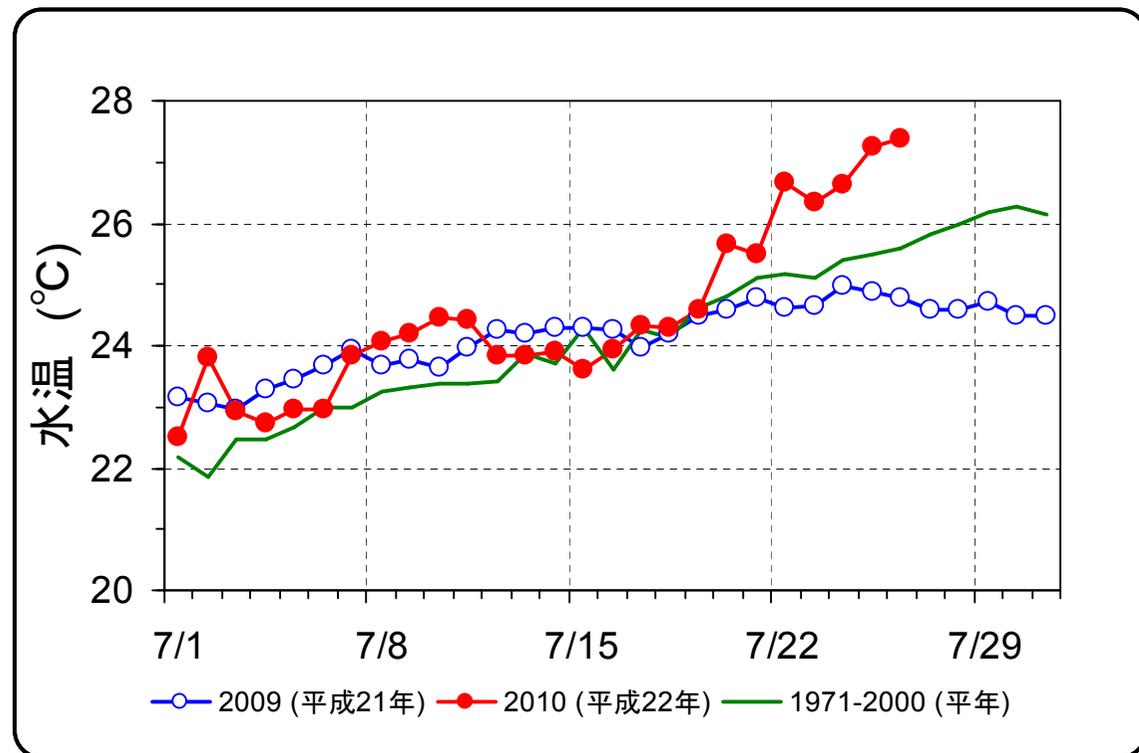


図2 萩NNW15マイル沖の表層水温

## 【魚群分布調査】

7月21日、調査船「第2くろしお」で魚群分布調査を行いました。

その際、魚群反応のあった観測点、海域の水深及び水温は次の表2、図3のとおりでした。

表2 魚群分布調査 各観測点の水温(℃)

測点番号	①	②	③	④	⑤
名称等	山口北事業礁	カキノ瀬	川尻マウンド礁	オーシャン口入No.1	深川湾口
時刻	9:28	10:12	10:54	14:44	16:55
水深	92m	72m	98m	89m	37m
0m	25.4	25.8	26.5	25.8	25.9
20m	22.8	23.2	22.7	22.4	22.8
40m	20.6	20.7	21.0	21.2	-
60m	18.5	19.2	20.4	20.5	-
80m	17.2	-	19.1	19.3	-
海底	16.9	18.6	18.8	19.2	21.8

## 魚群反応があった海域

いずれも位置は世界測地系です。

- A 7月21日 10:03 瀬付き  
緯度 34°40.78'N 経度 131°05.52'E  
反応：ふつう 水深：75m  
反応深度：60m～海底付近
- B 7月21日 10:13 瀬付き  
緯度 34°39.50'N 経度 131°04.39'E  
反応：濃い 水深：77m  
反応深度：55m～海底付近
- C 7月21日 10:55 魚礁  
緯度 34°35.28'N 経度 131°00.84'E  
反応：ふつう 水深：97m  
反応深度：70m～80m
- D 7月21日 14:44 魚礁  
緯度 34°29.49'N 経度 131°01.41'E  
反応：ふつう 水深：89m  
反応深度：70m～海底付近
- E 7月21日 15:36 魚礁  
緯度 34°29.44'N 経度 131°03.85'E  
反応：ふつう 水深：87m  
反応深度：65m～海底付近

- F 7月21日 16:30 魚礁  
緯度 34°29.71'N 経度 131°05.85'E  
反応：ふつう 水深：84m  
反応深度：55m～75m

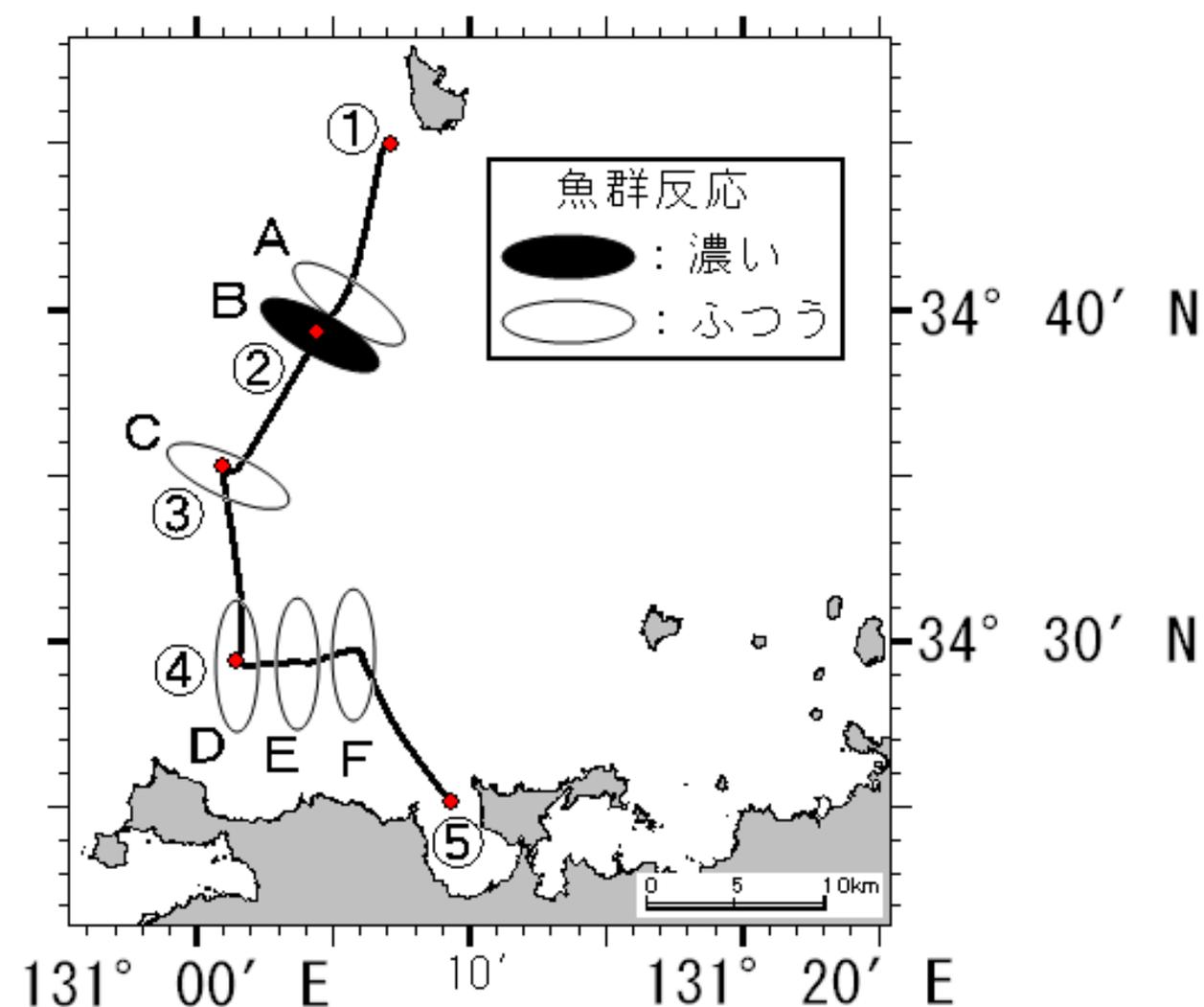


図3 調査海域